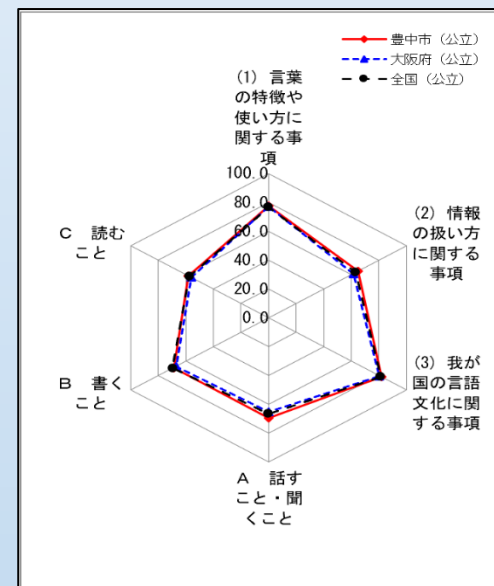
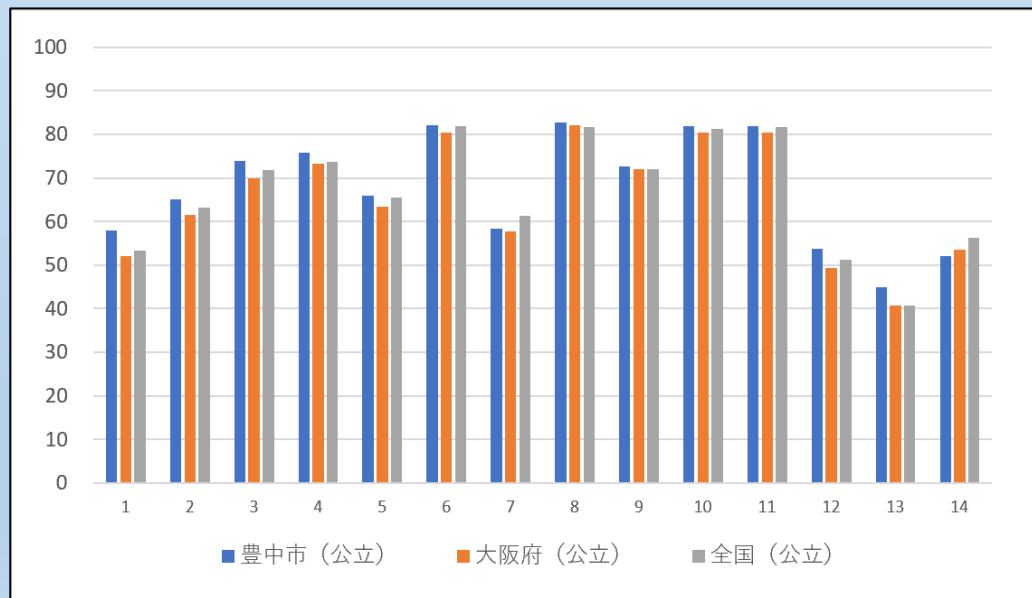


【学習指導要領の内容の平均正答率（％）】

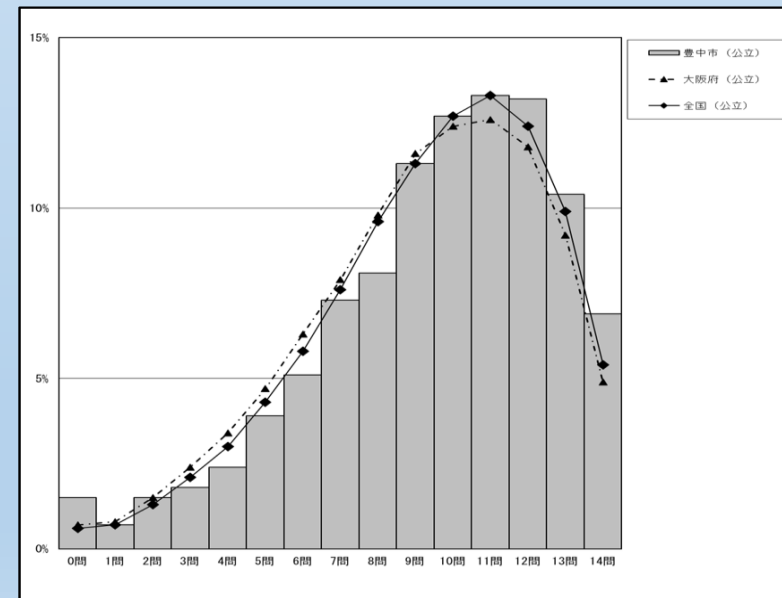
分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
全体			14	68	65	66.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	77.7	77.0	76.9
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	1	65.0	61.5	63.1
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	81.8	80.3	81.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	69.2	65.0	66.3
		B 書くこと	3	68.8	67.1	69.5
		C 読むこと	4	58.2	56.1	57.5
評価の観点		知識・技能	4	75.6	73.9	74.5
		思考・判断・表現	10	64.7	62.1	63.8
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	66.8	63.4	64.7
		短答式	3	79.1	78.2	78.5
		記述式	2	55.2	55.7	58.8



【国語 正答率（％）【設問ごと】（横軸：設問、縦軸：正答率）】



【国語 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）】



話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題は比較的できていますが（1三（2））、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題に課題があります（3三（2））。

【問題別集計結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）	豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
1一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	57.9	52.0	53.3	1.4	0.6	0.5
1二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	65.0	61.5	63.1	1.3	0.5	0.5
1三（1）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Aのように発言した目的として適切なものを選択する	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる	73.9	69.9	71.8	1.6	0.6	0.6
1三（2）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Bのように発言した理由として適切なものを選択する	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	75.8	73.2	73.7	1.5	0.6	0.6
2一	【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる	65.9	63.3	65.5	2.3	0.9	0.8
2二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	82.1	80.3	81.8	2.3	0.9	0.8
2三	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	58.3	57.7	61.3	6.1	5.4	5.0
2四ア	【ちらし】の下線部Aを、漢字を使って書き直す（このみ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	82.8	82.1	81.6	8.6	6.9	7.2
2四イ	【ちらし】の下線部Bを、漢字を使って書き直す（あついで）		72.6	71.9	72.1	6.4	4.2	4.3
3一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる	81.8	80.3	81.2	3.1	1.5	1.3
3二（1）	【木村さんのメモ】の空欄Aに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる	81.9	80.5	81.6	4.3	3.2	2.9
3二（2）	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄Bに当てはまる内容として適切なものを選択する	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる	53.8	49.4	51.3	4.4	2.5	2.4
3三（1）	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	45.0	40.7	40.8	5.8	3.5	3.4
3三（2）	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	52.1	53.6	56.3	19.4	16.5	16.2

豊中の子どもたちの
強みが見られた問題

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題①

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題②



目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる



— ここがポイント —

文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にすることが重要です。友達と話し合い、読み手の立場から「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか」ということを中心にアドバイスし合う場面を設定すると効果的です。その際、詳しくする前後の文章をモデルとして提示することで詳しくすることのよさを実感できるようにすることも考えられます。また、詳しくする方法をいくつか知ることができるように友達同士で書いた文章を見せ合い、詳しくする方法を話し合うことも効果的です。

【条件】

○「ちらし」の部を書き直し、くわしくすること。(一文でなくてもよい)

○「調べたこと」の「本を読んで分かったこと」と「使ってみて分かったこと」のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
 - ・落としたときに、本がきずづかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・温かい飲み物が冷めにくかった。

【ちらし】

三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」の部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直し、あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。おどの条件に合わせて書きましよう。

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

【正答の条件】

次の条件を満たして解答している。

- ①【ちらし】の二重傍線部を書き直し、詳しくしている。
- ②【調べたこと】のうち、以下のことから言葉や文を取り上げて書いている。
 - a 〈本を読んで分かったこと〉 b 〈使ってみて分かったこと〉
- ③60字以上、100字以内で書いている。

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
◎	条件①、②a、bの両方、③を満たしているもの	58.3%	57.7%	61.3%
	条件①、②a、bの両方は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.7%	0.6%	0.5%
	条件①、②aは満たしているが、条件②bは満たしていないもの	9.4%	9.6%	8.7%
	条件①、②bは満たしているが、条件②aは満たしていないもの	10.8%	12.2%	12.7%
	条件①は満たしているが、条件②a、bは共に満たしていないもの	10.0%	9.6%	7.9%
	上記以外の解答	4.7%	4.8%	4.0%
	無解答	6.1%	5.4%	5.0%

【正答例】

- ・何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。(84字)
- ・手ぬぐいは、何回か折るだけで、ブックカバーとして使うことができます。本の大きさに合わせて包むことができるので便利です。落としても本にきずがつきません。(75字)
- ・ペットボトルカバーとしてペットボトルを包んで持ち運ぶことができます。使ってみると、かばんの中の荷物にペットボトルの水てきがつかなくなります。また、温かい飲み物も冷めにくくなるので、とても助かります。(99字)

一ここがポイントー

複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことが重要です。その際、それぞれの資料にある、語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつないだりするなどして、どの部分と結び付くのか視覚的に明らかにしながら読む指導を行うことが効果的です。

3

木村さんの学級では、言葉の変化について学ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、「資料1」を読んで「一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えをまとめることになりました。」「資料1」をよく読んであとの問いに答えましょう。

【資料1】

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であったと考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなっていたり、使い方が変わっていたりする場合も少なくありません。ですから、意味や使い方に揺れが生じている言葉について、「この使い方が正しい」と決めつけるのは短絡的ともいえるでしょう。①この本を読むとお気づきになると思いますが、文化庁国語課では、言葉の意味について「正しい」「誤り」といった判断をせず、代わりに、②「本来の意味」「本来とは違う使い方」といった言い方にとどめています。言葉の正誤を軽々しく決めることはできないと考えられます。とはいえ、どんな言葉を使ってもいい、というわけではありません。③コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。④言葉は生きている」とも言われます。その広がりや深さにも、触れていきたいと考えています。

(文化庁国語課「文化庁国語課の動き いしやす日本語」による。)

※1 「規範」…………… 判断したり行動したりするときの根本。
※2 「短絡」…………… よく考えもせずに、ものごとを簡単に結びつけてしまうこと。
※3 「文化庁」…………… 文化や芸術を広める仕事や、文化財を守る仕事などをする、国の機関。

【資料2】

「あたらしい」は新しい形

「ふんいき」ということばを「ふんいき」と書く人が多くなりました。こう言うと、「たいへんだ、日本語がこわれてしまふ」と思う人がいるかもしれません。でも、心配しないでください。にたようなことばは、昔からよくあることです。「ふんいき」は「ふんいき」という意味で、私たちは「新しい」と言います。でも、大昔の奈良時代には「あらたし」と言っていました。今でも、「新しい」という意味で「あらたし」と言っています。「あらたし」は、大昔から使われていたことばが、次の平安時代には「あらたし」が「あらたし」になりました。「た」と「ら」の順番が入れかわっていますね。つまり、「あらたし」に比べれば「あらたし」は新しい形です。それが変化して、今では「あらたし」になりました。

(飯間浩明「日本語をつかまえる」による。)

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

ぼくが読んだ二つの資料(「資料2」「資料3」)には、言葉が変化していることが書かれていたよ。「資料1」に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

【資料4】

私は、この資料(「資料4」)を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがうことがあることが分かるでしょ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味」とちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、「資料1」に「A」が書かれているとおどろくと思うよ。

「A」は「雨模様の意味のとらえ方」

(文化庁「令和4年度国語に関する世論調査」による。)

「雨模様」の意味のとらえ方

世代	雨模様の意味のとらえ方	割合
15-19歳	雨模様の意味のとらえ方	50.4%
20代	雨模様の意味のとらえ方	43.5%
30代	雨模様の意味のとらえ方	53.7%
40代	雨模様の意味のとらえ方	53.9%
50代	雨模様の意味のとらえ方	61.2%
60代	雨模様の意味のとらえ方	52.6%
70代以上	雨模様の意味のとらえ方	46.2%

▲雨模様の意味のとらえ方 ▲雨模様の意味のとらえ方

【条件】

○言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※次の枠は書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

【正答の条件】

次の条件を満たして解答している。

①言葉の変化について納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書いている。

②納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から選び、以下のように言葉や文を取り上げて書いている。

a 【資料2】、【資料3】のいずれかから言葉や文を取り上げて理由を書いている。

b 【資料4】から言葉や文を取り上げて理由を書いている。

c 【資料2】、【資料3】、【資料4】のうち複数の資料から言葉や文を取り上げて理由を書いている。

【正答例】

• 言葉の正誤を軽々しく決めることはできないということになっとくしました。100年ほど前の作家は「とても安い」「とても寒い」という言い方は新しいと書いていたそうです。時代とともに言葉の意味が変化するのなら、「正しい」「あまり」といった判断はできないはずです。(解答類型1)

• 「どんな言葉を使ってもいい、というわけではない」という部分を読んで、そのとおりだと思いました。なぜなら、世代によって「雨模様」の意味のとらえ方にちがうことがあるからです。コミュニケーションの食い違いが起こるとこまると思います。(解答類型2)

• 「言葉は生きている」ということになっとくしました。理由は、言葉は時代によって同じ言葉でも意味や言い方が変わるからです。また、同じ時代であっても、人によって意味のとらえ方がちがうことがあるからです。言葉はつねに変化していることが分かります。(解答類型3)

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
◎	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、aを書いているもの	31.8%	34.4%	36.2%
◎	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、bを書いているもの	10.3%	9.5%	10.1%
◎	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、cを書いているもの	10.0%	9.7%	10.0%
	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	9.8%	10.1%	9.9%
	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	11.4%	11.4%	10.3%
	上記以外の解答	7.3%	8.3%	7.3%
	無解答	19.4%	16.5%	16.2%

【問題番号】1三(2)

豊中の子もたちの
強みが見られた問題

【正答率】75.8% (豊中市)
73.2% (大阪府)
73.7% (全国)

【出題の趣旨】

話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる



— ここがポイント —

自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、
更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比
較しながら自分の考えをまとめていけるようにす
ることが大切です。

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
	1と解答しているもの	2.0%	2.8%	2.6%
	2と解答しているもの	14.5%	16.2%	15.9%
◎	3と解答しているもの	75.8%	73.2%	73.7%
	4と解答しているもの	6.0%	7.0%	7.0%
	上記以外の解答	0.2%	0.2%	0.1%
	無解答	1.5%	0.6%	0.6%

※この調査の結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。



三 小森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【インタビューの様子の一部】

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事についてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

岡さん どうぞよろしくお願いします。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことです。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道を混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん え、そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思いましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

〽 (インタビューが続く) 〽

(2) 【インタビューの様子の一部】の小森さんが——部イのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。

2 自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。

3 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。

4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。